



はびきのMedical⁺Net

新体制、始動。
地域に寄り添う医療のその先へ。

2026
春
Vol.18



新副院長就任のごあいさつ	01	2026年度新任医師のご紹介	05~07
患者総合支援センターの 体制変更のお知らせ	02	退任医師のお知らせ	08
新主任部長就任のごあいさつ	03	地域医療連携NEWS 地域とともに発展する専門診療科【泌尿器科】	09
新事務局長就任のごあいさつ	04	連携医療機関のご紹介 医療法人典彰会 あやレディースクリニックさま めかた内科クリニックさま	10
大阪府がん診療拠点病院の 新規指定を受けました。	04		

新副院長就任のごあいさつ

このたび、2026年4月1日付をもちまして、副院長を拝命いたしました赤田忍でございます。

私は1999年に当センターに赴任して以来、産婦人科の医師として、今回主任部長となる安川先生とこれまで10,000件以上の手術、15,000件以上の分娩に携わってまいりました。最近ではロボット支援手術や無痛分娩も積極的に導入してまいりました。これまで多くの地域医療機関の皆様や患者様、病院スタッフに支えられ、この日を迎えられることを、心より感謝申し上げます。

今後はこれまでの経験を活かし、病院経営の健全化と、より質の高い医療サービスの提供に尽力する所存です。

現在の医療を取り巻く環境は、少子高齢化の進展や

働き方改革の推進など、非常に大きな転換期にあります。このような変化の激しい時代において、当センターが地域の中核病院としての役割を全うし、持続可能な医療提供体制を維持していくためには、地域医療機関の皆様との連携や組織としての団結力がこれまで以上に重要であると考えております。

微力ではございますが、産婦人科診療に尽力するとともに、山口院長を補佐し、地域医療への貢献ならびに当センターのさらなる発展に向けて、誠心誠意努めてまいり所存です。今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくご厚意申し上げます。



産婦人科の詳細はこちら

副院長 赤田 忍 AKADA SHINOBU

<経歴>1987年奈良県立医科大学卒業、同年奈良県立医科大学附属病院での研修を経て、1988年大阪府済生会富田林病院、1990年県立奈良病院、1990年奈良県立医科大学（助教授）、1999年より大阪府立羽曳野病院（現大阪はびきの医療センター）勤務、2001年同センター産婦人科部長。2026年4月より現職。
<所属学会・資格等>日本産科婦人科学会専門医、日本産科婦人科学会指導医、母体保護法指定医、大阪府難病指定医、Da Vinciサージョンコンソールプログラム修了



2026年4月付で副院長・医務局長を拝命いたしました亀田誠と申します。

私は1991年に当時の大阪府立羽曳野病院アレルギー小児科に入職し、以降一度も移動することなく当センターで勤務しております。入職当時の羽曳野病院はまだ結核療養所の面影を残しておりましたが、今では急性期病院へと大きく様変わりし、診療科も増えております。急性期病院として欠かせない救急部門も充実してきております。小児科も以前は喘息を専門に治療しておりましたが、今ではアレルギー疾患では食物アレルギーが増え、加えて一般小児診療、新生児、救急、小児循環器外来と診療の幅を広げております。

病院が急性期医療を担うためには、地域診療を担われておられる先生方との連携がますます重要となると

認識しております。ご紹介頂いた患者様について、症状の改善や治療方針の決定をもって逆紹介させて頂くことになりませんが、この時に大切なことはお互いの医療体制を理解することだと考えます。先生方との更なる有機的な連携構築にむけ、これまで以上にコミュニケーションを取れるよう努力いたします。ご意見、ご要望などありましたら遠慮なくお申し付けください。

医務局長としては院内の診療科間の連携をより密にすることを考えます。このことでより良い医療を提供でき、地域医療にもさらに貢献できると考えております。

当センターが真に地域医療に必要とされる病院となれるよう、先生方の叱咤激励を心よりご厚意申し上げます次第です。

副院長兼医務局長 アトピー・アレルギーセンター長

亀田 誠 KAMEDA MAKOTO

<経歴>1988年大阪大学医学部卒業、同年大阪大学医学部附属病院での研修を経て、1989年市立泉佐野病院小児科、1991年より大阪府立羽曳野病院（現大阪はびきの医療センター）勤務。2015年同センター小児科主任部長。2026年4月より現職。専門は小児アレルギー疾患、小児心身症。

<所属学会・資格等>現在日本小児科学会代議員、同学会移行期支援委員会委員。日本アレルギー学会理事、日本小児アレルギー学会理事、日本小児臨床アレルギー学会理事長。大阪府医師会学校医部会アレルギー疾患対策委員会委員長。大阪市、堺市、羽曳野市の食物アレルギー対応ガイドライン作成にも委員として関与している。



小児科の詳細はこちら



患者総合支援センターの 体制変更のお知らせ



- 【左から】
- ・センター長 / 川島 佳代子 (副院長兼務)
 - ・副センター長 / 田中 真奈美 (地域医療連携室長兼務、副看護部長)
 - ・副センター長 / 川畑 慶治 (患者総合相談室長、マネージャー)
 - ・田中 久美 (入退院支援室長・看護師長)

近年の医療連携の複雑化や入退院支援の需要増大に伴い、今年度より、地域医療機関の皆様との連携をより一層強化するため、患者総合支援センターの副センター長を2名に増員しました。また、地域医療連携室長は田中真奈美(副看護部長)、患者総合相談室長は川畑慶治(マネージャー)、入退院支援室長は田中久美(看護師長)に変更しております。より迅速かつ専門的な意思決定を行い、質の高い連携サービスを提供してまいります。

患者総合支援センター センター長 / 川島 佳代子

地域医療連携室

室長 / 田中 真奈美

(副センター長兼務・副看護部長)

ご紹介いただいた患者さんが、スムーズに治療を受けられるよう調整させていただきます。

入退院支援室

室長 / 田中 久美 (看護師長)

患者さんが、安心して治療を受け、入院生活が過ごせるように様々な聞き取りを行い、病棟と情報共有します。

また、退院後、住み慣れた地域で早期に療養生

活をおくれるよう、担当看護師や医療ソーシャルワーカーが相談員となり支援させていただきます。

患者総合相談室

室長 / 川畑 慶治

(副センター長兼務・マネージャー)

患者さん・ご家族の病気や日常生活、入院生活での不安や困りごとの相談、大阪府がん診療拠点病院としてがん相談を受けています。相談内容に応じ、専門スタッフが対応させていただきます。

今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新主任部長就任のごあいさつ

このたび新生児科主任部長に就任しました和田紀久と申します。専門は新生児学で、日本周産期・新生児医学会認定新生児専門医・指導医です。元々新生児医療を志していたわけではなかったのですが、医局人事で大阪母子医療センター新生児科に通算5年半ほど勤務し、2年間の米国留学で新生児学研究に携わり、気がつけばゴリゴリの新生児科医になっていました。

2000年から近畿大学病院で新生児医療の責任者として勤務し、NICU教授、周産期母子医療センター長を務めておりました。同じ1988年卒で阪大病院小児科研修の同期であった亀田副院長から、はびきのNICUのリーダーとなる新生児専門医を探していると聞き、お役

に立てるならと馳せ参じました。

はびきの医療センターは分娩数が多くハイリスク妊婦のご紹介も多いことから、小児科の業務に占める新生児医療の割合は大きいです。小児科専門医として新生児医療は誰しも経験してきていますが、さらにレベルアップを図るために新生児専門医が必要な段階に来ていました。そこで今後さらに高度な周産期医療を地域にご提供できるよう、新生児科を立ち上げることとなりました。新生児科の初代リーダーとしてこれまでの経験を活かし、南河内の皆様のために尽力させていただきますので、何卒よろしくお願ひします。



小児科の
詳細はこちら

新生児科 主任部長 和田紀久 WADA NORIHISA

〈経歴〉1988年愛知医科大学卒業。大阪大学小児科を経てパルモア病院、大阪府立母子保健総合医療センター新生児科、Harbor UCLA Medical Centerなどで新生児医療、新生児学の経験を積んで参りました。2026年4月より現職。

〈所属学会・資格など〉日本小児科学会専門医・指導医・出生前コンサルト小児科医、日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法「専門」コース(Aコース)インストラクター、日本周産期・新生児医学会専門医



母校を卒業した40年前は、放射線診断医と放射線治療医の専門資格の区別もなくオールラウンダーを目指しての研修医生活でしたが、次第に切らずに治せる放射線治療に関心が向かうようになりました。もはや知る人も少ないコバルト装置に始まりCT治療計画やリニアックの登場、定位照射やIMRTといった高精度放射線治療の普及など40年前には想像もつかなかった進歩を目の当たりにしてきました。

また、2019年には私自身が前立腺癌と診断され、1年間の監視療法を経て当時勤務していた関西電力病院で密封小線源永久挿入治療という放射線治療を受けました。治療の翌朝には退院して、そのまま夕方まで外来

診療に就くことができるほど低侵襲な治療で放射線治療の利点を実感できました。

当センターでは化学放射線療法や術前術後照射、入院での放射線治療など他科との連携が緊密にできており、様々なご要望にお応えすることができます。また訪問診療の先生方には単回照射を含む短期間照射や再照射の検討など適切に緩和照射提供できる体制を整えており、適応のご相談を含めご依頼、ご相談をお待ちしています。

個人的な自己紹介としては、中高大を通して長距離走者として陸上部に所属しており、卒業後も時々走力を確かめるため10キロやハーフマラソンに出場しています。



放射線治療科 主任部長 板垣 康 ITAGAKI YASUSHI

〈経歴〉1986年関西医科大学卒業、関西医科大学での研修、大学院、米国ミネソタ大学留学を経て、藤枝市立総合病院、淀川キリスト教病院、奈良社会保険病院、関西電力病院、多根総合病院などで主に放射線治療医として勤務。2026年4月より現職。

〈所属学会〉日本医学放射線学会、日本放射線腫瘍学会、日本核医学会
〈資格等〉放射線治療専門医・研修指導医、核医学専門医、検診マンモグラフィ読影医



放射線治療科の
詳細はこちら

新事務局長就任のごあいさつ

このたび、4月1日付で当センター事務局長に着任いたしました山崎です。地域の皆様に、本紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

私は大阪府からの派遣職員ではありますが、当センターは私にとって大変思い入れのある場所です。府に採用後、最初の勤務が当時の府立羽曳野病院であり、5年間にわたり病院現場で多くの経験を積み、府職員としての基礎を築きました。

その後、本庁や府立病院機構本部での勤務など、通算10年間にわたり病院事業に携わってまいりました。そして今春、30数年ぶりにこの地に帰って来ることとなり、懐かしさとともに深いご縁を感じています。

帰って来て、改めて感じたのは、この地域の豊かな自然環境、職員の温かさと高いチームワーク、そして地域医療機関の皆様との信頼関係に支えられた連携体制など、「はびきのらしさ」が今なお大切に受け継がれ

ているという点です。このような環境のもとで再び勤務できますことを、大変うれしく思っています。

医療を取り巻く環境は一層厳しさを増しておりますが、当センターが地域にとって欠かすことのできない医療機関であり続けるため、医療の質の向上と持続可能な経営の両立を図りつつ、皆様との連携をより一層深め、「はびきのらしさ」を最大限に発揮してまいりたいと考えています。

微力ではございますが、愛着ある病院と地域のために尽力してまいりますので、どうぞよろしくご願ひ申し上げます。

大阪はびきの医療センター
事務局長

山崎 幸雄



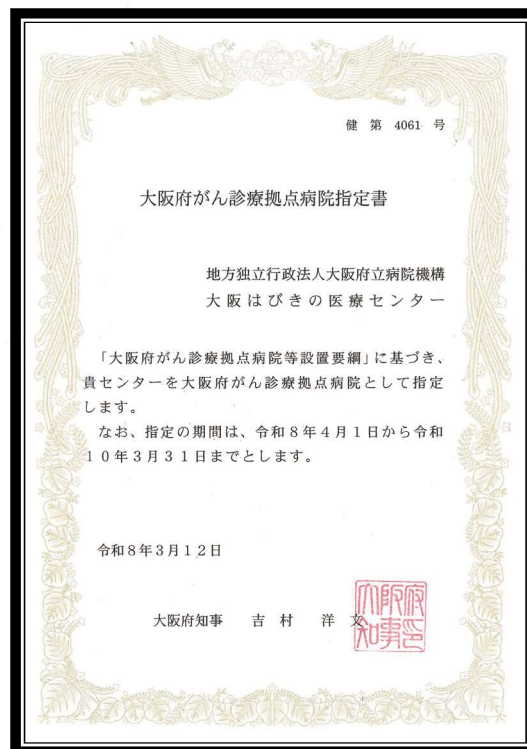
大阪府がん診療拠点病院の 新規指定を受けました。

当センターは、このたび大阪府より「大阪府がん診療拠点病院」として新規指定を受けました。

(指定期間：令和8年4月1日～令和10年3月31日)

今回の指定は、当センターが提供するがん医療の質や、地域における連携体制が評価されたものです。

今後も大阪府のがん診療拠点として、他の医療機関との緊密な連携を図り、府民の皆さまに安心かつ高度な医療を提供できるよう、より一層の充実・発展に努めてまいります。



2026年度 新任医師のご紹介

どうぞよろしくお願いいたします！

17名



耳鼻咽喉・頭頸部外科
医長

秋田 佳名子

AKITA KANAKO

このたび耳鼻咽喉・頭頸部外科に着任いたしました。これまで私は主に甲状腺疾患や副鼻腔疾患の手術の研鑽を積んでまいりました。これまでの経験を活かし微力ではございますが、地域医療の発展に貢献できるように努めて参ります。ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



皮膚科
診療主任

山村 優人

YAMAMURA YUTO

皮膚科医として着任いたしました山村優人と申します。近畿大学皮膚科より出向しております。大学では主に皮膚外科を担当しておりましたが、当センターでは手術に加え、アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患を含め全般的に研鑽を積んでまいります。地域の患者様により良い医療を提供できるよう努めてまいります。



画像診断科
医員

田代 茜子

TASHIRO AKANE

この度大阪はびきの医療センターに入職いたしました画像診断科・放射線治療科の田代茜子と申します。以前は大阪市立総合医療センターで勤務しておりました。不慣れな点や至らない点もあるかと思いますが、精一杯努めさせていただきますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



麻酔科
部長

大橋 祥文

OHASHI YOSHIFUMI

4月より麻酔科へ参りました。前任地の大阪国際がんセンターでの経験を活かし地域へ貢献させていただきます。診療科の特性上目立ちませんが、手術等の際に支えになれるよう努力しますのでよろしくお願ひいたします。



乳腺外科
副部長

渡邊 法之

WATANABE NORIYUKI

大阪国際がんセンターより赴任しました。乳がんを専門とし、診断から手術・薬物治療まで総合的に対応します。乳房の整容性を意識したオンコプラスティック・サージェリーやHBOCを含めた遺伝性腫瘍に関して気軽に相談ください。地域の先生方と連携し、地域のがん診療に貢献して参りたいと思います。



アレルギー・リウマチ内科
医長

柴原 理志

SHIBAHARA TAKAYUKI

学生時代に膠原病に興味を持ち、大阪大学在学中に旧第三内科（呼吸器・免疫内科学）に入局しました。医局関連病院で研修し、大学院で自己炎症に関する研究を行い学位を習得しました。その後、第二大阪警察病院（現大阪けいさつ病院）免疫内科で勤務しておりました。膠原病、アレルギー領域で貢献できるよう尽力いたします。



感染症内科
診療主任

徳野 隼人

TOKUNO HAYATO

4月から感染症内科で勤務させていただきます。南河内地域の医療へ貢献できるよう努めてまいりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



腎臓内科
診療主任

茂木 孝友

SHIGEKI TAKATOMO

大阪大学医学部出身、腎臓内科の茂木です。はびきのに暮らしているみなさまや、当センターを受診される方々の健康の増進や病気の治療のため、力を尽くします。どうぞよろしくお願ひいたします。



皮膚科
診療主任

中山 優花

NAKAYAMA YUKA

この度、4月から皮膚科で勤務させて頂くことになりました中山優香と申します。これまで大阪で大学病院や市中病院で皮膚科診療に携わってきました。これからも地域の皆様に少しでも貢献できるよう努めて参ります。よろしくお願ひいたします。



呼吸器内科
医員

紅林 亮汰

KUREBAYASHI RYOTA

4月より着任いたしました。これまで京都市、大阪市、西宮市で研鑽を積み、患者さんに寄り添う診療を大切にして参りました。地域の先生方と連携し、はびきの地区の医療に貢献できるよう努めて参ります。よろしくお願ひ申し上げます。



肺腫瘍内科
医員

藤本 豪

FUJIMOTO GO

本年4月より勤務させていただくことになった藤本と申します。至らぬ点も多くあるかとは存じますが、地域の皆様のお役に立てるよう尽力いたしますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

2026年度 新任医師のご紹介



耳鼻咽喉・頭頸部外科
医員

武 哲平

TAKE TEPPEI

地域の皆様に信頼される医師を目指し、丁寧な診療を心がけてまいります。気になることがあればお気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。



産婦人科
医員

赤崎 功治

AKASAKI KOJI

この度、入職いたしました赤崎功治と申します。南河内地域の皆様に安心して受診していただけるように、丁寧な診察を心がけてまいります。日々研鑽を積み、信頼される医療を提供できるよう努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。



耳鼻咽喉・頭頸部外科
レジデント

篠田 佑乃

SHINODA YUUNO

4月より赴任いたしました篠田佑乃と申します。耳鼻科医としては1年目であり、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、地域の皆様に寄り添い、より良い医療を提供できるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



アレルギー・リウマチ内科
レジデント

石田 かほり

ISHIDA KAHORI

患者さまの健康に利することのできるよう、微力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



画像診断科
レジデント

山路 隆紘

YAMAJI TAKAHIRO

医局からの派遣で今年度当センターに勤務することになりました。大学は大阪公立大学で初期研修は北海道で過ごし今年から大阪に帰ってきました。初期研修後最初の病院で慣れない部分もあるかと思いますが、精一杯頑張りますので何卒よろしくお願いいたします。



呼吸器外科
レジデント

篠原 拓真

SHINOHARA TAKUMA

このたび、呼吸器外科に新任医師として着任いたしました篠原拓真と申します。微力ではございますが、地域の皆様に安心して医療を受けていただけますよう、日々研鑽を積みながら誠心誠意診療にあたります。よろしくお願いいたします。



退任医師のお知らせ



～大変お世話になりました。～

令和8年3月末日をもって、定年退職することになりました。令和3年にはびきの医療センターに着任して5年間という短い間でありましたが、先生方には大変お世話になりました。コロナ禍での着任となり、リウマチ膠原病領域の診療を立ち上げ、新病院への移転、地域医療支援病院の認定、病院機能評価の受審、そして病床の再編などいろいろな事がありました。私の専門であるリウマチ膠原病診療の立ち上げは、お陰をもちまして、なんとか軌道に乗せる事ができました。リウマチ患者様を地域外へ紹介することなく地域内で対応できるようになり皆様のお役に立てるようになってきたと思っております。

私は4月より医局の紹介により大阪複十字病院（寝屋川市）にて診療することになります。地域内での外来診療の予定がないので、私自身はご紹介いただいた患者を引き続き診察することはできませんが、後任の



先生が来られます。9月までは私も一棹だけ外来診療を残し、混乱のないように段階的に引き継ぐことしておりますので引き続きご紹介いただければと思います。

厳しい医療情勢の中で苦労は絶えないかと思いますが、皆様方の益々のご健勝をお祈りしております。ありがとうございました。

大阪はびきの医療センター
前副院長

緒方 篤

各診療科の先生方

呼吸器内科

小牟田 里以子

呼吸器外科

渡 洋和

感染症内科

韓 由紀
前田 恭兵

乳腺外科

石飛 真人

麻酔科

播磨 恵

耳鼻咽喉・頭頸部外科

花田 有紀子
坂井 沙映

産婦人科

中谷 沙也佳

小児科

梅田 有観
松丸 直裕

皮膚科

松尾 有華 上角 祐人
別所 史健

アレルギー・リウマチ内科

WIBOWO TANSRI

病理診断科

森 秀夫

画像診断科

後藤 拓也



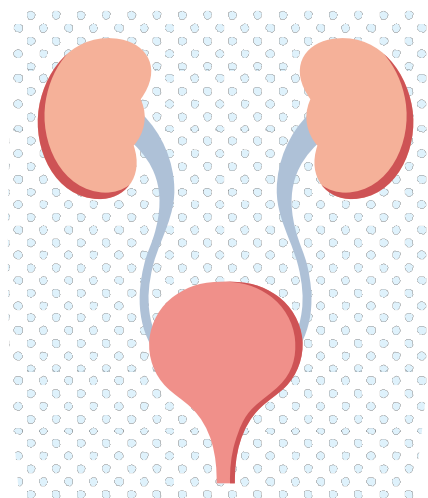
地域医療連携NEWS

はびきの医療センター泌尿器科 地域とともに発展する専門診療科

はびきの医療センター泌尿器科は2020年の診療開始以来、南河内地域における泌尿器科医療の拠点として着実に歩みを進めてきました。翌2021年には入院治療が可能となり、外来から手術・周術期管理まで一貫した診療体制を整備、地域の医療機関から紹介された患者さんを幅広く受け入れ、必要な検査や治療を迅速に提供できる環境を整えてきました。

2023年には新病院への建て替えが完了し、設備面でも大きく進化しました。前立腺がんや腎腫瘍また膀胱がんに対する低侵襲手術を可能にするダ・ヴィンチ手術支援ロボットを導入し、より精度の高い手術が行えるようになりました。また、体外衝撃波結石破碎術（ESWL）の開始により尿路結石に対する治療の選択肢が広がり、地域の患者さんの要望に応えることが出来るようになりました。

当科が大切にしているのは、地域医療機関との密な連携です。紹介患者の受け入れは可能な限り迅速に行い、膀胱鏡・CT・MRIなどの検査もスムーズに実施しています。治療後は速やかにかかりつけ医へ逆紹介し、日常の健康管理は地域の医療機関で継続していただけるよう、



適切な役割分担を重視しています。また、泌尿器悪性疾患の薬物療法や放射線治療との連携など、集学的にも対応し、患者さん1人ひとりに最適な医療を提供できる体制を整えています。

泌尿器科疾患は身近でありながら専門的な判断が求められる領域です。当科はこれからも地域の皆さまと医療機関とともに、安心して相談できる専門医療の拠点として、質の高い医療を提供してまいります。



泌尿器科
主任部長

福井 辰成 FUKUI TATSUNARI

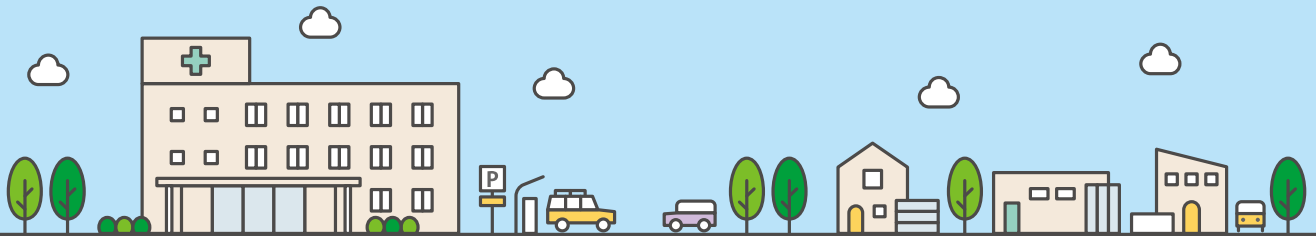
〈経歴〉1992年宮崎大学医学部卒業。同年大阪大学医学部附属病院泌尿器科勤務を経て、JCHO大阪病院、大阪急性期・総合医療センター、市立豊中病院、日本生命済生会日本生命病院（日生病院）にて勤務、2002年大阪大学医学部泌尿器科大学院卒業。2021年より現職。

〈所属学会・資格など〉

日本泌尿器科学会専門医・指導医、臨床研修指導医、身体障害者福祉法15条指定医（腎臓機能障がい）、身体障害者福祉法15条指定医（ぼうこう又は直腸機能障害）日本医師会認定産業医、緩和ケア研修修了、RI内用療法における適正使用に関する安全講習会修了、ダ・ヴィンチサージカルシステム認定資格、がんリハビリテーション研修修了



泌尿器科の
詳細はこちら



連携医療機関（登録医）のご紹介

医療法人典彰会 あやレディースクリニック

院長／伊藤 彰子 先生

当院は大阪府富田林市にある婦人科クリニックで、すべての年代の地域の女性が安心して相談できる身近な医療機関を目指して診療を行っております。月経トラブル、更年期症状、子宮頸がん検診、HPVワクチン接種など幅広い産婦人科診療に対応しています。診療は予約制を導入し、待ち時間の短縮とスムーズな診療に努めております。精密検査や入院・手術が必要な場合には、大阪はびきの医療センターをはじめとする地域の基幹病院と連携し、速やかにご紹介しております。どうぞよろしくお願いいたします。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30~12:30	○	○	休診	○	○	○	休診
14:30~18:30	○	○	休診	○	休診	休診	休診

〒584-0086 大阪府富田林市津々山台5丁目5-6

☎0721-28-1088 🖨0721-28-1055



ぬかた内科クリニック

院長／額田 勝 先生

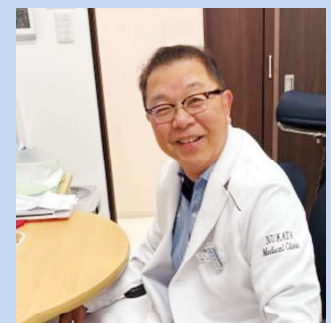
当クリニックは令和元年5月に開業しました。昭和から過ごした大好きなこの南河内で医療を通じて微力ながら地域貢献させて頂き8年目になります。

「医療を通じて、地域に温かさや明るさ、心の安らぎ、何よりも笑顔届けたい」という思いをスタッフ全員心掛けております。気軽に来院にされ、病状によって周囲の医療機関とも連携し、安心して暮らせるようサポートさせて頂きますので、どうぞよろしくお願いいたします。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00 (11:45まで)	○	○	○	○	○	○	休診
15:30~18:30 (18:15まで)	○	○	○	休診	○	休診	休診

〒583-0861 大阪府羽曳野市西浦3丁目5-10 クリニックビル 1階

☎072-958-2222 🖨072-958-2227



登録医へのご登録のお願い

当センターは地域医療支援病院として、地域の医療機関と当センターが協力のもと相互の機能を有効に活用し、医療連携を深め広げることにより、地域全体として患者さんにとってより質の高い医療を提供していくことを目的に登録医制度を実施しています。ぜひ登録をお願いいたします。





地域医療連携室より

- ✓ **できるだけ事前のご予約をお願いします。**
- ✓ 紹介状があっても予約がない場合は、待ち時間が長くなることや当日の受診ができない場合もあります。
- ✓ **呼吸器内科、肺腫瘍内科、アレルギー・リウマチ内科（松野医師のみ）、消化器内科は、完全予約制となっております。**
必ず地域医療連携室を通してご予約をお取りくださいますようお願いいたします。
- ✓ **当日の緊急受診**が必要な患者さんにおきましては、できる限りお受け入れできるよう調整いたしますので、**地域医療連携室にご連絡**いただけますようお願いいたします。
- ✓ **オンライン予約システム (C@RNA Connect) をご利用ください。**
(事前に申し込みが必要です)
※詳しくはホームページをご確認ください。または地域医療連携室にお問い合わせください。

地域医療支援病院として紹介・逆紹介をさらに推進してまいります。
私達は、最新の医療水準で、最適な医療サービスを、
思いやりの心をこめて提供します。



地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪はびきの医療センター

〒583-8588 大阪府羽曳野市はびきの3-7-1

☎072-957-2121 (代表)

<院内診療科のご案内>(2026年5月現在)

呼吸器内科、肺腫瘍内科、感染症内科、アレルギー・リウマチ内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、乳腺外科、産婦人科、小児科、新生児科、皮膚科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、泌尿器科、整形外科、眼科、歯科口腔外科、麻酔科(高内裕司)、集中治療科、救急診療科、画像診断科、放射線治療科、臨床検査科、リハビリテーション科、緩和ケア科、外来化学療法科、病理診断科

センター公式SNS

